

第二種奨学金貸与期間延長願

※大学学部・短期大学・専修学校専門課程（単位制）・高等専門学校（専攻科）の長期履修学生に係る第二種奨学金貸与期間延長を含みます。

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり貸与期間の延長を希望いたしますので、引続き奨学金貸与の継続をお願いします。

また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間（終期）を下記のとおり延長することを願います。

なお、返還誓約書（兼個人情報情報の取扱いに関する同意書）で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間（終期）の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書（兼個人情報情報の取扱いに関する同意書）及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

提出日		西暦 2020 年 12 月 26 日	
生年月日		西暦 1998 年 4 月 1 日 (満 22 歳)	
学 籍 番 号		12401700000	
立命館 大学 (院) 短期大学		学部 学科 (科) 4 年次	
「奨学生証」や「返還誓約書(本人控え)」で確認の上記入		課程 研究科	
奨 学 生 番 号		フリガナ	
8 1 7 0 4 0 0 0 0 0		氏 名 (自署) リツメイ タロウ 立命 太郎	
		シヤチハタ不可	

変更後の借入額 (予定・総額)		従来の終期までの貸与総額+(延長する月数×月額) ※不明な場合は必ず学生オフィスにお問い合わせください。		スカラネットパーソナルで確認の上記入	
現行の貸与期間		貸与始期 2 0 1 7 年 4 月 ~ 貸与終期 2 0 2 1 年 3 月 (予定) まで		最大一年間延長可能	
希望する貸与延長期間 (注) 希望できる延長期間は 1 年以内(「長期履修」を除く)		●卒業(修了)見込: 2 0 2 2 年 月卒業(修了)見込 ●希望する延長期間: 現行の貸与終期(予定)の翌月から 2 0 2 2 年 3 月まで ●長期履修課程の修業年限: 年 (延長事由が「長期履修」の場合のみ記入)		卒業に必要な最短期間	
延長事由 (注) 該当を ☒ で選択		☐ 出向による場合 ☐ 傷病による場合 ☐ ボランティア活動による場合 ☒ 被災(災害に起因する特殊事情を含む)による場合 ☐ 長期履修課程による場合			
◎上記事由が生じた期間 2020 年 4 月 ~ 2020 年 12 月 (注) 「長期履修」の場合は記入不要です		◎上記事由により延長が必要となった理由を詳細に記述してください。(注) 「長期履修」の場合は記入不要です。		新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた時期を記入	
		新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い卒業延期となり、奨学金が必要である旨を詳細に記入			
休学期間 (注) 該当を ☒ で選択		☐ 有 年 月 日 ~ 年 月 日 ☐ 無		該当するものに✓および記入する	
(準)国費受給期間 (注) 該当を ☒ で選択		☐ 海外留学支援制度 年 月 ~ 年 月 ☐ 無 ☐ 官民協働海外留学支援制度			

■保証制度(必ず記入してください。) ※人的保証の場合は、連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書が必要です。
※機関保証加入者は、貸与期間の延長に伴い保証料月額が変更となります。
※機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を提出してください。

※現在選択している保証制度にチェックする。	☒ 人的保証 (右欄を記入)	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。		住所 氏 名	印鑑登録証明書と同一の住所・生年月日、氏名を連帯保証人本人が記入	実印	電話番号 (昭和・平成) 生年月日	連帯保証人・保証人の印鑑登録証明書がそれぞれ一部ずつ必要
	※印鑑登録証明書を添付	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。		住所 氏 名	印鑑登録証明書と同一の住所・生年月日、氏名を保証人本人が記入	実印	電話番号 (昭和・平成) 生年月日 年 月 日	
	☒ 機関保証	今後貸与を受ける奨学金の保証を、引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので、保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引くこととなります。						

■本人が未成年者 機関保証選択者はこちらにチェック

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は未成年後見人	住所 (親権者・未成年後見人)	印
	学生本人が20歳以上の場合、記入不要	
	氏 名 (自署)	電話番号

本人が未成年者の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署・押印してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署・押印してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親です。両親がいる場合は、必ず二名とも記入してください。いずれかいない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。未成年後見人がいる場合は、未成年後見人が自署・押印してください。奨学金申込時の「親権者又は未成年後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

●学校記入欄(必須)	
返 還 誓 約 書 機 構 提 出 (☒ を 記 入)	☐ 済
上記記載のとおり相違ないことを証明します。(学校の証明)	
学 校 名 関係課長(※)	学校記入欄のため、記入不要
※証明者は課長相当職以上の方としてください。なお、職印の押印・省略については、各学校の公印取扱規程等の定めに基づき取扱ってください。	

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。(20.4)

異動・補導係 郵送必要 入力不可